

霧島市 よんたもんせニュース

2022年9月

アメリカ国際交流員：
ショウ・ウェイリー



皆さん初めまして、アメリカ国際交流員のショウ・ウェイリーと申します。私は今年の四月に来日し、着任して五ヶ月目になりましたが、よんたもんせニュースを任されるのはこれが初めてです、よろしくお願いいたします！今回は八月に帰国された三人のALTのインタビューです。三人とも霧島に三年以上住んでおり、ここにいる沢山の学生たちに英語を教えました。そんなALTたちの話を聞いて見ましょう。



David Dumbleton
ディビッド・ダンブルトン



Sara Mallet
サラ・マレット



Steve Shepherd
スティーブ・シェパード

Q1: ALTの仕事を始めたいきっかけを聞かせてください

David: 私は幼い頃から日本文化に興味があり、日本での生活を体験してみたい、日本語を勉強してみたいとずっと考えていました。ALTになったきっかけは、イギリスの友人が一年間中国に英語を教えに行った経験談です。友人がイギリスに帰ってからその話を聞いて、私も日本で自分の冒険を始めようと思いました。

Sara: 私は元々海外生活や異文化体験に興味がありました。ALTに応募した当初は、日本についてよく知りませんでした。来るのが運命だったと思います。今は来られたことをとても幸運だと思います。

Steve: 日本に興味は元々あって、日本に住みながらできる仕事だったからです。

Q2: 霧島に住んだ後の感想を聞かせてください

David: 霧島は素晴らしく、ここで生活できたことをとてもありがたく思っています。霧島は世界で最も美しい場所の一つだと思います。ここは自然が華やかで、人々はとても親切で、食べ物も凄く美味しいです。イギリスに帰ったら、みんなに霧島を訪れるように勧めたいです。

Sara: 私が帰ったらきっと、霧島の美しい緑や国分海岸での散歩、そしてチキン南蛮が恋しくなります！霧島はとても美しく、親切な人がいっぱいなところで、ここに配属されたことをとてもありがたく思っています。霧島を故郷のように感じさせた皆さん、ありがとうございます！これから寂しくなります。

Steve: 霧島の人たちはとても親切に迎え入れてくれて、素晴らしい経験ができたことにとても感謝しています。

Q3: 帰国後の計画 やりたいことは？

David: ALTとしての生活が終わったら、まずはイギリスにいる友人や家族に会いたいです。霧島に住んでいた3年の間は、コロナの影響で家に帰ることができませんでした。その後は、ソフトウェア開発者を目指して、コンピュータプログラミングの勉強を続ける予定です。

Sara: 10月からはスペインでALTの仕事を行います。近い将来は、難民や移民のためのESL教師(第二言語としての英語教師)になりたいと思います。

Steve: 今年の終わり頃、僕の奥さんと二人の娘たちと一緒にイギリスに帰る予定です。そこでは、高校で歴史を教える先生になろうと考えています。

三人とも、長い間本当にお疲れ様でした。私が霧島に来て三人と知り合ったばかりなのに、もうお別れとなりとても寂しいですが、人生の次のステージへ歩もうとする皆を心から応援しています。目標が叶いますよう、健闘を祈ります！

